

事業名 : 第2回大石吉之進まつり

団体名 : 大石吉之進の会

1 事業内容

日時 令和 5年7月23日～8月 5日
場所 豊岡市立図書館
内容 忠臣蔵「和紙人形作品展」・「パネル展」・朗読・ミニコンサート・
ワークショップ<吉之進グッズ工作>・歴史講座

【事業経過】

月 日	実施内容	場 所	参加人数
7月23～ 7月30日	和紙人形作品展・パネル展	豊岡市立図書館	見学者200名
7月30日	交流会行事<朗読・ミニコ ンサート・ワークショップ 歴史講座	同上	95名
8月5日	歴史講座	同上	20名

2 事業の効果

(1) 団体（組織）内の効果

「吉之進まつり」を通じて準備から当日の開催に至るまで協力体制が生まれた。特にワークショップ<吉之進グッズ>の準備においてはパーツづくりに数か月を有し、その中から会員同士の深い交流が生まれた。また今回は豊岡市立図書館、豊岡市立歴史博物館と共催して官民共同での新しい繋がりが生まれた。

(2) 地域への波及

昨年の第1回大石吉之進まつりに参加いただいた方も今回第2回の行事にも多く参加いただき、行事の趣旨「古里の歴史を学ぶ、また継承して行く」を理解していただける方が増えてゆくことはありがたいことだと思っている。
市広報・新聞などにも取り上げられ、猛暑の中でもあったが、多くの参加者があった。

3 協働の相手方

図書館朗読ボランティアグループ・倭紙人形の会・丹後八姫会・おとつれ with Tomo いずれも「豊岡の忠臣蔵」に触れる項目を内容に入れていただいた。図書館の朗読ボランティアグループの「理久ものがたり」はベテランの方2名によるすばらしい朗読だった。また倭紙人形グループによる忠臣蔵の名場面を倭紙人形113体を使い再現、躍動的ですばらしい作品展だった。ワークショップの「吉之進グッズ」工作には参加者主体の企画で楽しい時間を過ごした。またミニコンサートには、「理玖の子守歌」の演奏もあった。

4 今後の課題等

(1) 団体（組織）活動を継続するための工夫等

図書館を拠点として歴史博物館などとも連携をして官民共同で古里の歴史・文化を学び継承してゆく活動を展開して行く。現在の参加者は高齢者が多いが、今後は若い年代の層も増やしていくことも頭におき、若い層の意見も聞き、スタッフに入れてゆくことも必要だと考えている。

(2) 地域活動を拡大していくための工夫等

少人数でも歴史講座など継続してゆくことで理解者を増やしてゆく、吉之進まつりに参加していただいた方の輪も広げてゆくこと、これまでも行って来たメディア新聞などによる広報活動も継続して行くことなど。



5年7月23～30日 和紙人形作品展



5年7月30日 交流会—ミニコンサート



5年7月30日 交流会—ワークショップ



5年7月30日 交流会—歴史講座